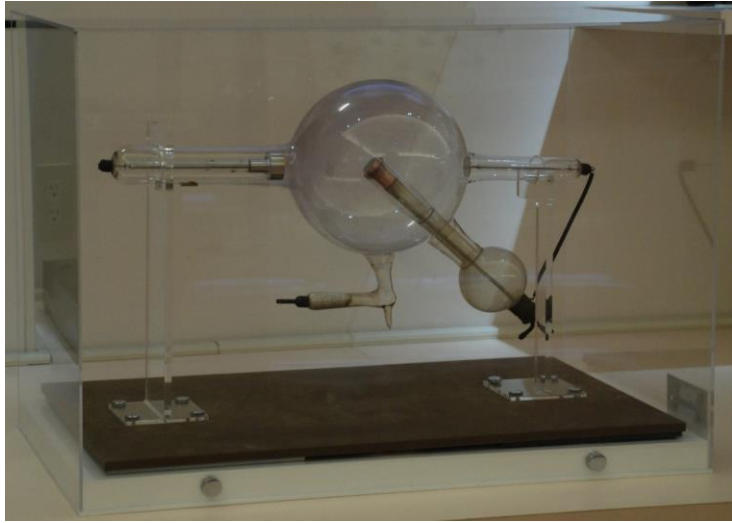


## わが国初のX線管球

登録番号	第 00047 号		
登録年月日	平成22年10月6日	登録区分	第一種

名称 (型式等)	X線管(ギバX線管球)
所在地	神奈川県川崎市幸区
	株式会社 東芝 東芝未来科学館
所有者 (管理者)	株式会社 東芝 東芝未来科学館
製作者(社)	東京電気株式会社 (現: キヤノン電子管デバイス株式会社)
製作年	1915年
選定理由	X線は1895年W. C. レントゲンにより発見され、1910年頃日本では、レントゲン医療が誕生しつつあった。当時、X線管球はドイツ製品の寡占が続いていたが第一次世界大戦勃発で輸入途絶となった。医療界の困窮を受け、東京電気(株)は国産化研究に着手し、電球製造で培った真空技術や管球技術を駆使し、1915年に第1号を完成させ、ギバX線管球と命名した。その後の国内放射線医学隆盛の契機となった製品である。ギバは、古代インドの名医の名に由来する。
登録基準	ーイ (科学技術の発展の重要な側面及び段階を示すもの)

公開・非公開	公開
--------	----

写 真	
-----	--

その他参考となるべき事項	
--------------	--